

○授業について

6月の第1回考査まで1か月を切りました。高校で生徒が過ごす時間や場面は、全校、学年、クラス、部活、行事、と多岐に渡りますが、生徒が最も多くの時間を過ごすのは、『授業』です。教科毎に定めた目標を達成すべく、生徒は日々学び直しも含めて学習と向き合っています。今回は本校の「**授業の展開(形態)**」、「**授業における行動目標**」、一般的に言われる「**学習効率を上げる方法**」について掲載します。

- **少人数制** 【1年生 現代の国語、英語コミュニケーションⅠ】【3年生 実用国語】
ークラスを2つに分けて少人数で個別の支援を充実させます。
- **習熟度別** 【1年生 数学Ⅰ】【2年生 数学A】
ー単元テストの学習到達度に応じてクラスを分け、生徒に合わせたペースと内容で授業を行います。
- **Team Teaching** 【1年生 情報Ⅰ】【2年生 プレゼンテーション演習、コミュニケーション英語Ⅱ】【3年生 英語会話(ALT)】【全学年 英語(ALT)】ークラス、もしくは科目を選択した生徒に対して2人の教員で授業を行います。
- **一斉授業** 【前述のものを除く全科目】

※それぞれメリット、デメリットはありますが、学習支援の観点から実施、検討しています。

○岩高授業スタンダード

岩出山高校では、授業における生徒の行動目標を設定しています。よりよい学習者を目指して、授業開始時、終了時にそれぞれが項目毎のセルフチェックと、学習内容の振り返りを行っています。ご家庭でも話題にしてみてください。

◆ -授業開始時- セルフチェック

- チャイムが鳴る前に自分の席に着席できた(時間を守る)
- スマホなど授業に不要な物をカバンにしまい、
授業に必要な物がすべて準備されている(整理整頓)
- その場にふさわしい服装(制服)をしている(礼儀)
→「聞く姿勢」を整え、授業のねらいを確認しましょう

◆◆ -授業終了時- セルフチェック

- 離席や私語、居眠りをすることなく参加できた(集中力)
- 先生の話に耳を傾けることができた(聞く力)
- 自分の考えを広め、深めることができた(学びに向かう力)
→この取り組みを振り返り、次の授業につなげましょう

○学習効率を上げるためには

生徒から時折、「〇〇が覚えられない～」「どうしても集中できない」「勉強ってどうやってやるの?」という声が聞こえてきます。今回は、『**学習に取り組みやすくなる環境づくり**』について少々アイデアを提案します。一般的なものから、科学的な視点のものもあります。時間や方法も大事ですが、ぜひご家庭で学習環境について話し合ってみてください。

- **3点固定法** - 「起きる」「学習開始」「寝る」時間の固定 → 生活習慣・学習時間の安定 → 学習計画を立てやすい!
- **ICTの利活用** - 学習系アプリや SNS 学習法 → 学習時間の管理や、内容の把握がしやすい ※誘惑も多い……
- **「ながら勉強」** - 脳科学的には「学習」=「刺激・反応・強化」 ※学習活動にいい影響のあることをしながらです※
(例)歩きながら音読/声に出しながら書く/誰かに教える(教えながら考えている)
- **デジタルデトックス**(スマホ・TV・PCをOFF) - 脳への刺激が学習刺激のみに → 集中できる環境 → 学習刺激・反応の強化
- **動機付け** - 目標(点数や、どこまでできるようになるか)を決める → ゴールまでのやる気の継続につながる

その他『学習環境作り』のアイデア募集中です。良いアイデアがあればお教えください。

● 次回のトピック : 「**学習に向かう生徒の声(2・3年生)**」、「**進路との関連**」